

vDRAでのログ収集プロセスのハングエラーのトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、Diameter Routing Agent(vDRA)のlog collect process hungエラーをトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Linux
- CPS
- Policy Control Rule Function(PCRF)
- Diameter Routing Agent(vDRA)
- Dockerコンテナ

次の特権アクセス権が必要であることを推奨します。

- CPS vDRA CLIへのルートアクセス
- cps GUIへのqns-svnユーザアクセス (Policy BuilderおよびCPS Central)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CPS cisco-policy-dra 22.1.0
- Dockerコンテナ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

自動ログ収集は、停止状態に必要なすべてのログをvDRAから収集するのに役立ちます。「log collect」コマンドは、1つのコマンドですべての仮想マシン(VM)で可能なすべてのログの収集をサポートします。

- 収集されるログのリスト：統合QNSログ統合PBログOrchestratorログトップコマンド DockerコンテナログJournalctlログMongoログ
- ヒープダンプ収集のサポート
- スレッドダンプの収集のサポート
- カテゴリごとにログを収集するサポート
- vmwiseでログを収集するサポート
- ログのコピー先となる外部/DIMサーバの詳細の設定をサポート
- 現在の機能設定の表示をサポート

問題

「log collect」コマンドは、さまざまなログを収集してCisco Policy Suite(CPS)ログアーカイブに圧縮する、停止状態の自動ログ収集です。

「log collect process is already running... so exiting」別のログコレクションがまだ完了していない間に新しいログコレクションが開始されると、エラーが報告されます。ユーティリティがハングしたときにも同じエラーが報告されます。

```
admin@orchestrator[labnode]# log collect all duration 1
log collect process is already running... so exiting
```

解決方法

1. ログ収集プロセスを再起動します

```
cps@master-0:~$ docker exec -it orchestrator bash
root@orchestrator:/# ls -l /var/log/broadhop/log-collect.pid
root@orchestrator:/# rm -rf /var/log/broadhop/log-collect.pid
```

2. 外部サーバの設定を、log collect show コマンドが表示されない場合もあります。

```
admin@orchestrator[labnode]# log collect show
Log collect configurations Current Value
-----
ip 10.10.10.20
port 22
user user
password ABCDEF0123456789ABCDEF0123456789
```

3. Cisco IOSソフトウェアの log collect all コマンドを使用して、ログを収集し、圧縮ログファイルを外部サーバにコピーします。

注意：期間の期間（時間単位）は整数である必要があります。例1:10進数は使用できません。

```
log collect all [ duration
```


翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。